



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

平成30年3月1日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第192号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市  
ネットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

第2回我孫子市小中一貫教育推進委員会を実施したうなー！

2/28(水)に、我孫子市教育委員会で、今年度第2回目の我孫子市小中一貫教育推進委員会を実施しました。(1回目の様子は、第180号で紹介しました。)

今回の推進委員会では、今年度の推進状況の説明及び今後の方針について小中一貫教育推進室から説明し、その後、質疑応答及び協議を行いました。

今回は、質疑応答及び協議の中で、推進委員のメンバーから挙げられたご意見を中心にご紹介します。



我孫子市の小中一貫教育の推進についてご意見をいただきました！

- 我孫子市の小中一貫教育は、一步一步進んでいることがわかりました。自分の子どもが通っている学校の様子を見ても、そのことがわかります。
- 小中一貫の日が始まった年は、どのような活動をするのかがわからず、戸惑いました。でも、小中一貫の日がどのような日か、ということが学校や保護者に浸透してきていると思います。
- 教員の激務の中にあって、このように着実に進めてもらっていることは、保護者としてもとてもありがたいです。
- Abi☆小中一貫カリキュラムを推進する際には、偏りなくバランスよく進めてほしいと思います。特に、Abi-ICTを活用した情報モラル教育には、力を入れてほしいです。
- 小中一貫教育が難しいものではなく、小中学校9年間の連続した教育の流れであることがわかりました。我孫子市の小中一貫教育が、「当たり前の小中一貫」になればよいと思いました。
- 市教委から方針が示されました。その方針に基づいてグランドデザインを作成し、小中一貫教育を進めていきます。
- 見えやすい取り組みも大切ですが、目に見えにくい学校教育の連続性を大切にして、小中一貫教育を進めていきたいです。
- 分離型の難しさや、毎年人事異動で教職員が変わる現状があります。年度初めに、中区の研修会を開催して、そこで中区の経営方針をしっかりと教職員に示していく必要があると思います。
- 学校や地域の実態に合わせて、子ども達にも教職員にも無理のない小中一貫教育を創っていく必要があると思います。
- 小中の交流活動を、ただのイベントで終わらせるのではなく、これから作成するグランドデザインの中に位置づけて描ければよいと思います。

小中一貫教育を行うことにより、

子ども達の生きる力を、

- 小中学校の教員が力を合わせ、
- 中区の特色ある教育活動の中で、
- 保護者や地域と連携しながら、
- 子ども達の中学校への進学不安も少なく

効果的に育むことができる！

平成30年度

- 「Abi☆小中一貫カリキュラム」を継続して実施！
- 「グランドデザイン」の完成！（年度末）
- 各校HPIに「小中一貫教育コーナー（仮）」を作成し、「グランドデザイン」を掲載！（年度末）
- 中区の工夫による交流活動等を継続して実施！

これまでに着実に積み重ねてきたことを大切に、平成31年度の全市展開スタートを迎える準備を継続します。

これからも我孫子市の子ども達のために、小中学校が力を合わせるうなー！

